



ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292

令和元年度 北海道教育大学札幌校 へき地校体験実習報告会が開催されました！

北海道教育大学 へき地教育アドバイザー 武岡 和廣

へき地校体験実習の報告会へ
たくさんの学生が集まってくれました。

10月18日(金)北海道教育大学札幌校において、標記の報告会が開催されました。今回実習に参加した学生、へき地教育論を1年生で受講している学生、本学教員など55名の方が参加しました。

～体験実習報告会～

札幌校では、今年度全道各地の14校、2年生を中心とした34名がこの体験実習に参加しました。報告会は、各実習校の持ち時間8分の時間制限の中で、パワーポイントを駆使し内容の濃い発表がなされました。

以下、発表内容のごく一部を実習の成果と課題に分けてまとめてみました。



実習報告会 前田センター員からの説明を受ける学生達



実習報告会 実習校の発表をする学生



礼文町立香深井小学校 実習生 歓迎会

実習の成果

○ 学校の皆さんと過ごす時間がとても楽しく、また宿舎の仲間とも共同生活をすることで、改めて支え合うことがいかに大切かを学ぶことができた。

○ 小規模校の実態を知ることができてとても有意義だった。今までの学校に対する考え方が少し変わった。幅広い学校を観ることは教師として大切だと思った。



日高町立日高小学校 教壇実習



日高町立日高小学校 研究授業

○ 自分に足りないものだけでなく、自分自身の自信につながるものもみつけることができた。

○ 今まで漠然と描いていた教師へのイメージがより具体的なものとなった。自分たちが「先生」という立場で子ども達と接することができる貴重な機会だった。

○ 当初は不安や心配でいっぱいだったが、へき地校の良さや課題について体験を通して理解できた。また、来年の本実習の前にこの実習があったので、来年のイメージを持つことができ、今回の反省を生かしたいというモチベーションも高まった。

○ 慣れない場所だったが、私たちを先生方や、地域の方、子ども達、施設の方が温かく迎えてくださり、へき地教育を町全体で進めているということを感じることができた。



日高町立日高小学校 図工の授業風景

～ 玉井センター長からのメッセージ ～

玉井センター長から報告会の開催に当たり、次のようなメッセージを頂きました。

へき地校体験実習は、小規模校の中で、教師と子どもの密接な関係や、学校と地域との協力関係をとらえることができたのではないかと思います。また少人数の授業の中では、教師が一人一人の子どもの状況をとらえ、個に応じた指導ができることを感じられたのではないのでしょうか。これらのことは、教育の制度や時代が変わっても、いつの時代も大事な教育の原点ともいえることです。市街地で実施する3年生の教育実習に加えて、少人数のへき地校体験実習に参加した皆さんは、大変貴重な経験をし、教育の原点が広がったのではないかと思います。この貴重な経験を生かして教職の道を目指してください。そして、ぜひへき地・小規模校にも赴任してほしいと思います。学び多い報告会を祈念して私のメッセージとします。



実習報告会 実習校の発表をする学生

実習を通しての今後の課題

- 「学校が楽しい、明日も来たい」と心底思えることが何より大切なこと。上手な授業をすることも大切だが、何よりも大切にしなければならないことは、子どもを大切に思う気持ちだ。
- 子供の社会性をどうやって育てるかということに、先生方は腐心しているということ。
- いかにか児童に手出し、口出しをしないで、物事を進めるかが“肝”ということ。



日高町立日高小学校 家庭科授業風景



礼文町立香深井小学校 校舎

- 間接指導の時に、自分たちで考え、話し合い、学び方を身に付けさせることが大事。これは小規模校に限らず、子どもの自力解決を保証するということでは大きな学校でも課題になること。

このように、この実習に参加したすべての学生が本当に参加して良かったという感想を寄せております。

- どんな授業をするかについて大切なことは、日頃から子供との間に信頼関係を築くこと。それがなければ、子ども達も進んで学ばないし、お互いに向き合うことができないということ。
- 「～じゃん」や過度な敬語など、言葉遣いや筆順正しく書くことについては今後の課題。



子どもとの触れ合い

～ 次年度に向けて ～

昨年度から実習生を受け入れて下さっていた士別市多寄中学校が、今年度をもって学校統合されることに伴い、胆振管内伊達市立大滝徳舜警学校と初山別村立初山別小学校が新たにへき地体験実習の受け入れ校となってくださる予定となっております。次年度以降もこれまでと同じように、一人でも多くの学生にこの実習を体験してもらえたらと思います。



士別市立多寄中学校 校舎

『令和元年度 第2回へき地・小規模校教育 推進フォーラム in 旭川』を開催します。

テーマ 日本の未来の教育を創造するへき地・小規模校教育

【日時】 令和2年3月7日(土) 13:00~17:30

【会場】 北海道教育大学 旭川校

【主催】 国立大学法人 北海道教育大学

【後援】 (予定) 文部科学省・北海道教育委員会・全国へき地教育研究連盟・北海道へき地複式教育研究連盟・旭川市小学校長会・旭川市中学校長会・上川管内校長会・留萌管内小中学校長会・宗谷校長会

へき地・小規模校教育は、小規模性を活かして様々な新しい教育活動を実践できる条件があり、日本の教育活動の先導実践となる可能性を有すると言っても過言ではない。本フォーラムでは、このへき地・小規模校教育の先導実践の可能性をとらえながら、日本の未来の教育の姿をへき地・小規模校を通して創造することを目的としている。

総司会 北海道教育大学 旭川校センター員 小出 高義

開催挨拶 北海道教育大学 学長 蛇穴 治夫

I. 講演「新しい学校教育課程とへき地・小規模校に期待する実践」

講師 文部科学省 初等中等教育局 総務政策局長 石田 有記 氏

講師紹介 北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター長 玉井 康之

II. シンポジウム

日本の未来の教育を創造するへき地・小規模校教育の可能性

1. 「地域と密着し過疎地域の未来を先導する北海道のふるさと教育の可能性」

パネリスト 北海道教育委員会 学校教育局長 池野 敦 氏

2. 「自律的な学習活動を先導するへき地・複式授業の理念と方法」

パネリスト 信州大学 教育学部教授 伏木 久始 氏

3. 「個に応じた少人数学習と主体的な学習を先導するへき地・小規模校の教育」

パネリスト 北海道教育大学 旭川校センター員 水上 丈実・渥美 伸彦

司会 北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター 副センター長 川前 あゆみ

III. 北海道教育大学のへき地・小規模校教育実習の取り組みと学生の教職資質の向上

報告者 北海道教育大学 札幌校学生・旭川校学生・釧路校学生

講評 「へき地校体験実習が持つ教職資質向上の意味」

北海道教育大学 札幌校センター員 前田 賢次

「へき地校体験実習による学生教育効果」

北海道教育大学 函館校センター員 小松 一保

司会 北海道教育大学 釧路校センター員 越川 茂樹

謝辞 北海道教育大学 旭川校キャンパス長 千葉 胤久